

# 英単語の覚え方

## 5つのポイント

認定NPO法人リヴォルヴ学校教育研究所  
小野村 哲



### はじめに

私たちは毎日の暮らしの中で、いつのまにかにたくさんの語を身につけています。例えば初めて「スクラッチ・カード」という語を聞いたとき、辞書を引いたり、何度も練習したという人はあまりいないと思います。なのになぜ英単語は、練習してもなかなか覚えられないのでしょうか。

「RISE English Course 英単語カレンダー」の特長は、わずかな時間を有効に使って語を増やしながら、英単語を自ら学び取る力そのものを伸ばすことです。ポイントを押さえ、効率的に単語力をアップしましょう。

### ポイント I

#### 「音の足し算・引き算（音いん操作）」に慣れる

読めない単語は覚えられません。そこで大切なのは、「音の足し算・引き算」に慣れ、素早く正確に「音いん操作」ができるようにすることです。まずは次の語を上から下に、次は下から上に読んでみてください。

< Table 1 >

p + an	= pan	: 平なべ
pl + an	= plan	: 計画
plan + t	= plant	: 植物
plan + et	= planet	: 惑星

### ポイント II

#### 知っている語と関連づける

「フライパン : frying pan」や「プランター、耕作者 : planter」など私たちが暮らしの中で聞いたり話したりしている外来語は、数千語にもなります。「デパート」のように英語としてはそのまま使うことができないものもありますが、それもうまく生かせば 5,000 語からそれ以上の語を身につけることは難しいことではありません。

< Table 4 >

part	= part	: 部分
part + y	= party	: 集まり、政党
a + part	= apart	: 離れて
a + part + ment	= apartment	: アパート
de + part + ment	= department	: 部門、省

< Table 5 >

scr + atch	= scratch	: ひっかく
scr + eam	= scream	: 金切り声を出す
str + eam	= stream	: 小川
str + etch	= stretch	: 伸ばす、広げる

party = part + y のもともとの意味は「(一部の) 人の集まり」だと分かれば、それが「パーティー、宴会」だけでなく「政党」を意味することも理解しやすくなります。scream : (黒板をひっかいたような) 声を出すは、「スクラッチカード」などでおなじみの scratch や team / steam / stream と関連づければ、記憶に残りやすくなります。

- Tシャツに書かれてある単語など、暮らしの中で目や耳にする単語への関心を高めましょう。
- ポイントは‘気づき！’すでに身につけた知識、知っている単語と関連づけてボキャブラリーを倍加させましょう。



ローマ字との違いには注意する必要があります。tea を「テア」、ice を「イセ」と読んでいては英語は上達できません。しかしこれらの語も tea + m = team / r + ice = rice だと気づけば、あとは「音の足し算・引き算」で、かんたんに読み書きできるようになります。

< Table 2 >

t + ea	= tea	: お茶
tea + m	= team	: チーム
st + eam	= steam	: 蒸気
str + eam	= stream	: 小川
scr + eam	= scream	: 金切り声を出す
cr + eam	= cream	: クリーム
s + eam	= seam	: 縫い目
s + ea	= sea	: 海

< Table 3 >

ice	= ice	: 氷、冷やす
n + ice	= nice	: 良い、親切な
r + ice	= rice	: 米、ご飯
sp + ice	= spice	: 薬味、スパイス
ace	= ace	: 1 の札、エース
r + ace	= race	: 競争、人種
p + ace	= pace	: 歩調、ペース
sp + ace	= space	: 場所、宇宙

- 「音の足し算・引き算」が素早く正確にできるよう、中高校生以上でも基礎となる入門編を繰り返し練習しましょう。
- 各月ごとの Tips! で、練習の目的や ea / ice などの読み方を確認しましょう。



### ポイント III

#### 音と意味の関係に気づく

最近の研究では、日本語と英語も意外とよく似ていることがわかってきています。たとえば scratch の scr- は「カリカリ」、stretch の str- の音は「すつ(伸ばす)」など日本語の擬音語や擬態語によく似ています。sl- で始まる語には「すつ、するっ、そろり、すらり」などに通じる意味合いをもつ語も多くあります。

そこで問題！音から受けるイメージをたよりに次の単語の意味を推測し、ふさわしいものを線で結んでください。

< Table 6 >

slap	・	・	(ブレーキなどを)急に踏む
slam	・	・	平手打ちをする
slash	・	・	さっと切る

英単語にも、擬音語や擬態語から生まれたと考えられる語が少なくありません。slap の p からは「パンっと打つ音」、slam の m からは「ムッと込められた力」がイメージできませんか。「何となく」かもしれませんが、この「何となく」が、次にお話する「英語を英語のままでもとらえる力」を伸ばす上でもとても大切です。

< Table 7 >

◆ sl- : 素早い動き	◆ sl- : 遅さやゆるみ
slash : さっと切る	slow : 遅い
slap : 平手打ち	sleep : 眠る
◆ sl- : 滑る様子	◆ sl- : 細さや少なさ
slip : (するつと)滑る	slim : ほっそりした
slide : (すーつと)滑る	slight : わずかな

- slash なら「シュッと切る」真似をしながら発音するなど、音と意味との関係を意識して練習しましょう。
- ここでもポイントは‘気づき！’ Tips! も参考にしながら、他にも日本語と似ている音を探してみましょう。

## ポイントⅣ

### 辞書に頼り過ぎない、意味を丸暗記しない

slam の意味を辞書で調べると、「①ピシャリと閉める ②ドシンと置く ③力いっぱい投げる ④急に踏む」などがあります。これらをすべてを暗記するのは大変です。そこで次のような文中なら、カタカナ語感覚で「彼はドアを slam した」「道路がぬれているときは、ブレーキを slam するな」としてみましょう。

He **slammed** the door.

Don't **slam** on your brakes when the road is wet.



何となくでも言っていることが理解できたなら、まずはそれで十分です。日本語に訳さなければならない、間違っていないかどうかを確認したいというなら、あとで辞書を引いても遅くありません。ここでの目的は、英語を母語とする小さな子が初めてこの単語を聞いたときのように、「英語を英語のまま理解」できるようにすることです。

辞書が貴重な学習のパートナーであることは確かですが、自分で考えもせずに辞書に頼り切ってしまうのはよくありません。leave (left) などの語も様々な日本語訳が考えられますが、カレンダーには代表的な訳を1つ、2つしか載せていません。それだけを丸暗記してしまうと、次の文を「電車の上に傘を去った」などとして混乱することにもなりかねません。

She **left** her umbrella on the train.

彼女は電車に傘を置き忘れた

英語の orange は日本語の「オレンジ色」に比べてより広い範囲を示すなど、英単語と日本語の訳は簡単にイコールで結べるものでもありません。基本的な意味を知っておくのは悪いことではありませんが、大切なのは、暗記に頼らず、文脈や音から受けるイメージなども参考に場面に応じた訳ができるようにすることです。

- 辞書に頼り切るのはやめて、まずは英語をカタカナ語感覚、または英語のままですらえてみましょう。
- 和訳の際は、文脈や音から受けるイメージなども参考にしながら、場面に応じた訳を自分で考える習慣をつけましょう。

< Table 11 >

fam(e) + ous	= famous	: 有名な
nerv(e) + ous	= nervous	: 神経質な
danger + ous	= dangerous	: 危険な
port + able	= portable	: 持ち運べる
reason + able	= reasonable	: もっともな
re + mark + able	= remarkable	: 注目すべき
ex + port	= export	: 輸出する
ex + press + ion	= expression	: 表現
ex + clus + ion	= exclusion	: 除外、排除
im + port	= import	: 輸入する
im + press + ion	= impression	: 印象
in + clus + ion	= inclusion	: 包括、算入

## まとめ

私たちは日ごろ、様々な情報をバランスよく統合して聞いたり読んだりしています。これこそが、赤ちゃんがいつのまにかに「母語」を身につける秘けつかもかもしれません。

しかし外国語学習となると、つい肩に力が入ってしまいがちです。私たちがまず心がけるべきは、バランスを大切にしながら、様々な情報を上手にまとめて、理解できるようにすることです。

次に考えたいのは、赤ちゃんにはない強みを生かすことです。その1つが文字です。聞くだけよりは、目と耳で覚えたほうがはるかに効率的です。すでに多くの語を知っているという強みもあります。

one など音とつづり字がよくつながらない語もありますが、基本を押さえれば例外への対応力も高まります。

- \* 本紙は非営利目的に限り自由に利用いただけます。ただし、そのままコピーする場合には限られます。
- \* タイピングアプリ (無料) 他は、こちらから利用いただけます → →



## ポイントⅤ

### 語の成り立ちを知る

「拍手」の「拍」が「扌: 部首」と「白: 音記号」から成るように、英単語の多くも「語根: 語の中核部分」や「接頭辞、接尾辞: 語根の前後に着くもの」の組み合わせでできています。例えば animal や animation など -al や -ation で終わる語は数多くあります。

< Table 8 >

actual	= act + ual	: 実際の
formal	= form + al	: 形式的な
animal	= anim + al	: 動物
gradual	= grad + ual	: 徐々の、ゆるやかな

< Table 9 >

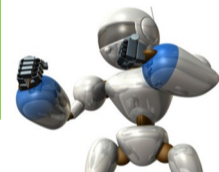
action	= act + ion	: 行動、動作
formation	= form + ation	: 構成、編隊
animation	= anim + ation	: アニメーション
graduation	= gradu + ation	: 卒業、等級

variation: バリエーション はカタカナ語としてもなじみ深い語です。ここから -ation をとったものが vary、ここに接尾辞 -able や -ous を加えれば variable / various などの語ができます。さらに接頭辞の ex-: 外へ、in / im: 中へ などを覚えておけば、読み書きがずっと簡単になるだけでなく、export / import などの意味も覚えやすく忘れにくくなります。

< Table 10 >

vary		: 異なる、変化する
various	= vari + ous	: さまざまな
variable	= vari + able	: 変わりやすい
variation	= vari + ation	: 変化すること

## RISE English Course 英単語カレンダーの効果的な使い方



### ◆ 毎日、少しずつ、繰り返す

まず大切なのは、読めるようにすることです。自宅では1冊はトイレなどに貼って、学校では「今月の単語①・②」などとして書き出したものを教室に掲示して、毎日、一度は読むようにします。

### ◆ 「音の足し算・引き算」で読む

「音の足し算・引き算」を意識しながら、end: 終わり — lend: 貸す — blend: 混ぜる などを上から下に、下から上に、読んでみます。

### ◆ 読めないときは

音声を聞く前に、各月の Tips! を確認しましょう。greet: 挨拶するが読めないときは、street / green など前後の語も参考にしましょう。

street: 通り - ( ? ): 挨拶する - green: 緑色

### ◆ 速読に挑戦

ある程度読めるようになったら、速く正確に読めるようにします。月末には、入門編1ヵ月分を音読で15~20秒以内を目標にしましょう。

### ◆ 意味だけを見て言う・書く

単語を見ないで言ったり書いたりできるようにします。y (イ) - e (エ) - t (トゥ) と発音しながら、手のひらに書くだけでも十分です。

jet: ジェット機 - ( ? ): まだ - yen: 円

### ◆ 小・中学生も中級編で応用力をアップ

pen / end が読めれば、pendant: ペンダント や independent: 独立した も読めるようになります。小・中学生も中級編の中で、読める単語、知っている単語を探してみましょう。

### ◆ 高校生・社会人は入門編で基礎固めを

disappointment: 期待外れ を dis+ap+point+ment と分ければあとは簡単にはずですが、「音いん操作」の不慣れがもとで伸び悩んでいる人は少なくありません。入門編の速読で基礎を固めましょう。